

PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number : 10-337579

(43)Date of publication of application : 22.12.1998

(51)Int.Cl.

C02F 1/72

B01J 35/02

C02F 1/32

C02F 1/58

C02F 1/78

(21)Application number : 09-145663

(71)Applicant : KUBOTA CORP

(22)Date of filing : 04.06.1997

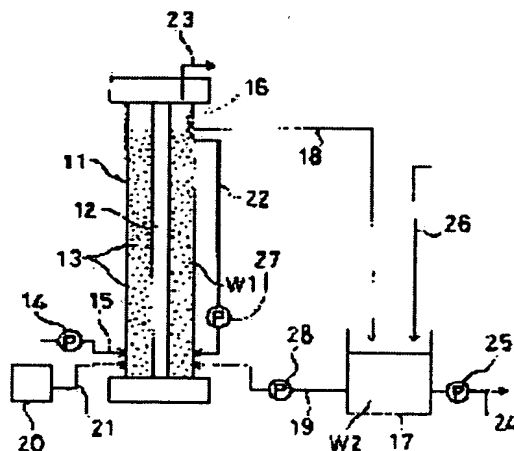
(72)Inventor : ARIMOTO KENTAROU
HORII YASUO
KAWANISHI TOSHIO

(54) METHOD AND APPARATUS FOR TREATMENT OF WASTEWATER

(57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To remove by degradation efficiently trace poisonous materials such as PCDDs or the like by a method wherein water is passed through an ultraviolet ray reaction tower holding a photocatalyst accelerating oxidation reaction of wastewater, and the trace poisonous elements in the wastewater are removed by degradation with the photocatalyst and ultraviolet rays.

SOLUTION: In an ultraviolet and ozone reactor, sand filtration treated water W1 of wastewater containing poisonous materials flows into a reaction tower 11, flows upwards together with a photocatalyst 13, an ultraviolet ray is radiated from an ultraviolet lamp 12, and ozone is supplied from an ozone generator 20. The sand filtration treated water W1 near an outlet permeates a net 16, is conducted as ultraviolet and ozone treated water W2 out to a pH adjusting tank 17, and the photocatalyst 13 remaining with the net 16 is circulated together with the surrounding treated water W1 near to a flow inlet. During this time, it comes in sufficient contact with the powder photocatalyst 13 in the reaction tower 11, and trace poisonous substances such as PCDDs or the like in the sand filtration treated water W1 are efficiently removed by degradation with synergism of the ultraviolet ray and the photocatalyst 13.



LEGAL STATUS

[Date of request for examination] 07.02.2001

[Date of sending the examiner's decision of rejection] 17.09.2002

[Kind of final disposal of application other than the examiner's decision of rejection or application converted registration]

[Date of final disposal for application]

[Patent number]

[Date of registration]

[Number of appeal against examiner's decision
of rejection]

[Date of requesting appeal against examiner's
decision of rejection]

[Date of extinction of right]

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平10-337579

(43) 公開日 平成10年(1998)12月22日

(51) Int.Cl. ⁸	識別記号	F I
C 0 2 F 1/72	1 0 1	C 0 2 F 1/72 1 0 1
B 0 1 J 35/02		B 0 1 J 35/02 J
C 0 2 F 1/32	Z A B	C 0 2 F 1/32 Z A B
1/58		1/58 A
1/78		1/78
審査請求 未請求 請求項の数 6 O L (全 4 頁)		

(21) 出願番号 特願平9-145663

(22) 出願日 平成9年(1997)6月4日

(71) 出願人 000001052

株式会社クボタ

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

(72) 発明者 有元 健太郎

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

株式会社クボタ内

(72) 発明者 堀井 安雄

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

株式会社クボタ内

(72) 発明者 川西 敏雄

大阪府大阪市浪速区敷津東一丁目2番47号

株式会社クボタ内

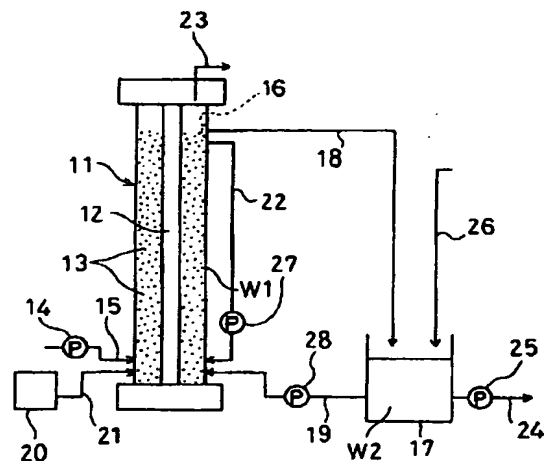
(74) 代理人 弁理士 森本 義弘

(54) 【発明の名称】 汚水処理方法および処理装置

(57) 【要約】

【課題】 ダイオキシン類等の微量有害物質を効率よく分解除去できる汚水処理方法および処理装置を提供する。

【解決手段】 ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ砂濾過処理水W1を、酸化反応を促進する光触媒13を保持した反応塔11へ通水し、光触媒13と紫外線ランプ12からの紫外線とにより前記微量有害物質を分解除去する。



- W1 砂濾過処理水（汚水）
- W2 紫外線・オゾン処理水
- 11 反応塔
- 12 紫外線ランプ
- 13 光触媒
- 15 供給管（流入口）
- 16 ネット
- 18 流出管（流出口）
- 20 オゾン発生器
- 22 循環管

【特許請求の範囲】

【請求項1】 ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ汚水を処理する汚水処理方法であって、前記汚水を、酸化反応を促進する光触媒を保持した紫外線反応塔へ通水し、光触媒と紫外線とにより汚水中の微量有害物質を分解除去することを特徴とする汚水処理方法。

【請求項2】 紫外線反応塔の内部へオゾンを導入し、光触媒と紫外線とオゾンとにより汚水中の微量有害物質を分解除去することを特徴とする請求項1記載の汚水処理方法。

【請求項3】 光触媒が粉体であり、流出部近傍の光触媒を含んだ汚水を流入部近傍へ循環させることを特徴とする請求項1または請求項2のいずれかに記載の汚水処理方法。

【請求項4】 ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ汚水を処理する汚水処理装置であって、一端に流入口を形成し、他端に流出口を形成した密閉構造の反応塔の内部に、流れ方向に沿って紫外線ランプを設け、酸化反応を促進する光触媒を保持したことを特徴とする汚水処理装置。

【請求項5】 反応塔の内部にオゾン进行供給するオゾン供給手段を設けたことを特徴とする請求項4記載の汚水処理装置。

【請求項6】 光触媒が粉体であり、反応塔に、流出口近傍の光触媒を含んだ汚水を流入部近傍に循環する循環手段と、流出口の手前側で光触媒を分離する光触媒分離手段とを設けたことを特徴とする請求項4または請求項5のいずれかに記載の汚水処理装置。

【発明の詳細な説明】

【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、廃棄物最終処分場の浸出水など、ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ汚水を処理する汚水処理方法および処理装置に関する。

【0002】

【従来の技術】たとえば、一般廃棄物や産業廃棄物を埋立てた廃棄物最終処分場の浸出水を処理する際には、浸出水中の夾雑物や砂等を除去し、カルシウムやマンガンなどの重金属を凝集沈殿させ、BOD物質や窒素分を生物処理により分解除去し、難分解性COD物質や浮遊物質などを凝集沈殿させ、さらに微細な浮遊物質を砂濾過により除去している。

【0003】そして、図2に示したように、浮遊物質を含まない砂濾過処理水1を、紫外線ランプ2を設置した反応塔3に通水し、紫外線ランプ2より照射される紫外線とオゾン発生器4より供給されるオゾンとに接触させることにより、砂濾過処理水1中に残存するダイオキシン類等の微量有害物質を分解除去し、反応塔3より流出する紫外線・オゾン処理水5を硫酸や苛性ソーダなどのpH調整剤6で中和して処理水7としている。

【0004】

【発明が解決しようとする課題】ところで、ダイオキシン類分解に要する反応時間は比較的長いので、上記したような反応塔3では通常、紫外線・オゾン処理水5を循環させることによって反応時間を確保しており、分解効率を上げるためには、循環時間を長くするか、あるいはオゾン注入率を高くしなければならない。

【0005】また、紫外線ランプ2から離れるほど紫外線照射強度が小さくなるので、同様の紫外線ランプを配置する場合は、反応塔3の径が大きいほど分解効率が小さくなってしまふ。

【0006】本発明は上記問題を解決するもので、ダイオキシン類等の微量有害物質を効率よく分解除去できる汚水処理方法および装置を提供することを目的とするものである。

【0007】

【課題を解決するための手段】上記問題を解決するために、本発明の請求項1記載の汚水処理方法は、ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ汚水を処理する汚水処理方法であって、前記汚水を、酸化反応を促進する光触媒を保持した紫外線反応塔へ通水し、光触媒と紫外線とにより汚水中の微量有害物質を分解除去するようにしたものである。

【0008】請求項2記載の汚水処理方法は、紫外線反応塔の内部へオゾンを導入し、光触媒と紫外線とオゾンとにより汚水中の微量有害物質を分解除去するようにしたものである。

【0009】請求項3記載の汚水処理方法は、粉体の光触媒を使用し、流出部近傍の光触媒を含んだ汚水を流入部近傍へ循環させるようにしたものである。また本発明の請求項4記載の汚水処理装置は、ダイオキシン類等の微量有害物質を含んだ汚水を処理する汚水処理装置であって、一端に流入口を形成し、他端に流出口を形成した密閉構造の反応塔の内部に、流れ方向に沿って紫外線ランプを設け、酸化反応を促進する光触媒を保持したものである。

【0010】請求項5記載の汚水処理装置は、反応塔の内部にオゾン进行供給するオゾン供給手段を設けたものである。請求項6記載の汚水処理装置は、粉体の光触媒を使用し、反応塔に、流出口近傍の光触媒を含んだ汚水を流入部近傍に循環する循環手段と、流出口の手前側で光触媒を分離する光触媒分離手段とを設けたものである。

【0011】上記した構成によれば、従来の紫外線単独処理または紫外線・オゾン併用型処理に光触媒を組み合わせたことによって相乗効果が生じ、紫外線やオゾンや光触媒を単独で用いる場合よりもダイオキシン類等の微量有害物質を効率よく分解することができ、従来より高い分解率および短い処理時間を実現でき、オゾン注入率の低減も可能である。

【0012】ダイオキシン類等の微量有害物質とは、ダ

イオキシシキ類、トリハロメタン、トリクロロエチレン等の有機塩素系化合物などの溶解性有機性汚濁物質をいう。光触媒としては、二酸化チタン、五酸化バナジウムなどを使用できる。

【0013】光触媒を組み合わせた際の微量有害物質の分解メカニズムは次のようなものと考えられる。

1) 紫外線によって光触媒自体に自由な電子と正孔（電子が抜けたあと）が生じ、生じた正孔が直接有害物質と反応して有害物質を酸化分解するか、あるいは正孔が水と反応してOHラジカルを生成し、生成したOHラジカルが有害物質を酸化分解する。

【0014】2) オゾン処理によって有害物質より生じた中間生成物を、光触媒が無害物質まで分解する。光触媒が粉体である場合、表面積が大きくなるとともに、汚水の流れに伴われて流出部近傍へ移動したものは流入部近傍へ循環されるので、反応塔内にほぼ均等に光触媒が保持されることになり、微量有害物質との接触率が大きくなり、微量有害物質の分解効率が高くなる。

【0015】

【発明の実施の形態】以下、本発明の一実施形態を図面を参照しながら説明する。一般廃棄物や産業廃棄物を埋立てた廃棄物最終処分場の浸出水など、ダイオキシシキ類等の有害物質を含んだ汚水を処理する際にはまず、先に説明したのと同様にして、汚水中の夾雑物や砂等を除去し、カルシウムやマンガンなどの重金属を凝集沈殿させ、BOD物質や窒素分を生物処理により分解除去し、難分解性COD物質や浮遊物質などを凝集沈殿させる。そして、この砂濾過処理水を砂濾過して微細な浮遊物質を除去した後に、紫外線・オゾン反応装置に送水する。

【0016】図1に示したように、紫外線・オゾン反応装置は、上下方向の筒状密閉式反応塔11を備えており、この反応塔11の内部に、上端から下端にわたる紫外線ランプ12が軸心位置に設けられ、光触媒13である粉状二酸化チタンが投入されている。反応塔11の下部に形成した流入口には、供給ポンプ14を介装した供給管15が接続し、上部に形成した流出口には、光触媒13を分離するネット16が設けられるとともに、pH調整槽17に至る流出管18の一端が接続している。反応塔11にはまた、pH調整槽17より導かれた返送管19と、オゾン発生器20から導かれたオゾン供給管21とが下部に接続するとともに、流入口近傍と流出口近傍とに連通した循環管22が設けられている。23は塔*

*内の排オゾン排オゾン分解塔（図示せず）へ導出する排オゾン導出管、24は排出ポンプ25を介装した処理水排出管、26は硫酸や苛性ソーダなどのpH調整剤を注入する薬注管、27、28は循環ポンプである。

【0017】このような紫外線・オゾン反応装置では、上述したようにして送水された砂濾過処理水W1が供給管15により反応塔11の内部に流入し、光触媒13とともに上向きに流れ、この状態において、紫外線ランプ12より紫外線が照射され、かつオゾン発生器20よりオゾン供給管21を通じてオゾンが供給される。紫外線ランプ43より照射される紫外線は、 $180 \pm 50 \text{ nm}$ と $250 \pm 50 \text{ nm}$ の両領域、あるいは $300 \pm 50 \text{ nm}$ の領域であり、オゾンは $80 \pm 10 \text{ g O}_3 / \text{m}^3$ となるように供給される。

【0018】流出口近傍の砂濾過処理水W1は、ネット16を透過して紫外線・オゾン処理水W2として流出管18によりpH調整槽17へ導出され、ネット16により塔内に残留した光触媒13は周囲の砂濾過処理水W1とともに循環管22を通じて流入口近傍へ循環される。pH調整槽17へ導出された紫外線・オゾン処理水W2の一部も返送管19を通じて塔内へ循環返送され、これにより適当な反応時間が確保される。

【0019】この間に、砂濾過処理水W1は、上記適当波長の紫外線と適当濃度のオゾンと塔内にほぼ均等に保持された粉状光触媒13とに十分接触することになり、砂濾過処理水W1中のダイオキシシキ類等の微量有害物質、すなわち溶解性有機性汚濁物質は、紫外線とオゾンと光触媒13の相乗効果で効率よく分解除去される。

【0020】pH調整槽17内の残りの紫外線・オゾン処理水W2は、薬注管26からのpH調整剤により中和された後、処理水排出管24を通じて系外へ引き抜かれる。以下の表1に、従来の紫外線単独処理および紫外線・オゾン併用処理と、上記した紫外線・オゾン・光触媒併用処理におけるダイオキシシキ類の分解除去率を示す。表1からわかるように、紫外線・オゾン・光触媒併用処理では、30分後にはダイオキシシキ類のほぼ100%が分解除去されており、従来の処理に比べて高い分解率および短い反応時間が実現されている。従来と同程度の反応時間を確保すれば、オゾン注入率の低減も可能である。

【0021】

【表1】

		紫外線のみ	紫外線+オゾン	紫外線+オゾン+光触媒
反応時間	30分	90%以上	95%以上	ほぼ100%
	300分	95%以上	98%以上	ほぼ100%

【0022】上記方法に代えて、オゾンを注入することなく紫外線と光触媒とで処理しても、ダイオキシシキ類等

の微量有害物質の分解効率を高めることができ、この場合、反応時間30分で95%以上、300分で98%以

上のダイオキシン類を分解除去できた。

【0023】

【発明の効果】以上のように本発明によれば、従来の紫外線単独処理または紫外線・オゾン併用型処理に光触媒を組み合わせることによって、これらの相乗効果でダイオキシン類等の微量有害物質を効率よく分解することができ、従来より高い分解率および短い反応時間を実現できる。そして、反応時間を短縮できる結果、滞留時間の短縮、ひいては装置のコンパクト化を図ることができる。また、比較的低濃度のオゾンでも有害物質を分解で

【図面の簡単な説明】

【図1】ダイオキシン類等の有害物質を含んだ汚水の処理に使用される本発明の一実施形態における紫外線・オ*

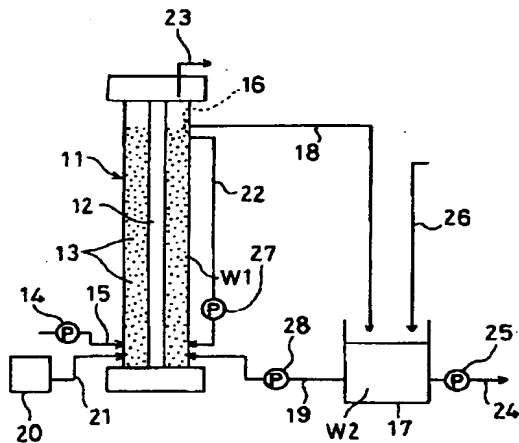
*ゾン反応塔の全体構成を示した説明図である。

【図2】従来の紫外線・オゾン反応塔の全体構成を示した説明図である。

【符号の説明】

- W1 砂濾過処理水（汚水）
- W2 紫外線・オゾン処理水
- 11 反応塔
- 12 紫外線ランプ
- 13 光触媒
- 15 供給管（流入口）
- 16 ネット
- 18 流出管（流出口）
- 20 オゾン発生器
- 22 循環管

【図1】



- W1 砂濾過処理水（汚水）
- W2 紫外線・オゾン処理水
- 11 反応塔
- 12 紫外線ランプ
- 13 光触媒
- 15 供給管（流入口）
- 16 ネット
- 18 流出管（流出口）
- 20 オゾン発生器
- 22 循環管

【図2】

